

誰もがつながりあって安心して暮らせる まち 上尾



あげお社協だより

生活支援・ボランティア情報

ふれふれ

合併号

「ふれふれ」には、人と人とのふれあいとボランティアを応援する(フレイフレー)という願いが込められています。



特集

地域の人と「ともに生きる」学習

～総合学習における福祉教育の取り組み～

寄稿

コロナ禍におけるボランティア活動

～聖学院大学 川田 虎男 氏～



- 大切な“つながり”のために、今できること ～コロナ禍における地域の取り組み紹介～
- 今、できることを考える“ボランティア活動”
- 感謝顕彰対象者のご紹介・善意銀行・ボランティア基金の報告
- 令和2年度共同募金運動の報告・社協会員募集の報告
- お知らせ掲示板

●ポスティングに関するお問い合わせは、
 ㈱埼玉ロジスティックス
 (048-726-9240)まで
 ご連絡ください。

編集 発行人

社会福祉法人上尾市社会福祉協議会・ボランティアセンター
 〒362-0011 上尾市大字平塚724番地上尾市総合福祉センター内
 TEL 048-773-7155 FAX 048-772-8647

Mail / ageo-sha@mb.jnc.ne.jp
 URL / http://www.ageo-shakyo.or.jp/

あげお社協



ホームページ

この社協だよりは、共同募金配分金を活用し発行しています。



体育館でアイマスク体験を行いました

シトラスリボンプロジェクト

今年度、新たに取り組んだのは、新型コロナウイルスの感染者や医療従事者への偏見をなくすためのシトラスリボンプロジェクトです。福祉体験学習の依頼を受けた学校へ紹介し、これまでに、8校の小学校で取り組みました。

授業の中では、自分用の他に、子どもたち自身が偏見をなくすことを発信する側にもなれることを伝えるため、一つは家族や友達に、もう一つはボランティアセンターへ寄付するためにと、3つずつ作ってもらいました。

「コロナで差別などは絶対にいけないことだと思いつつ作りました。」「思ったより難しかったけど、コロナに負けないように作成しました。」と感想がありました。

寄付されたシトラスリボンは、上尾市職員の皆さんや社会福祉協議会職員が身に着け、さら

なる活動の広がりを目指しています。

自分やみんなの幸せを考える

「ふくし」とは、自分やみんなの幸せと一緒に考え、実現していくことです。

福祉教育とは、日ごろ見過ごしてしまう普段の生活の問題に気づき、自分や周囲の人の「より良い生活」や「幸せ」を考える力を育むことを目的としています。

また、なにより人との関わりや人とのつながりの大切さを学ぶ、「ともに生きる」学習とも言えます。



シトラスリボンプロジェクトとは

新型コロナウイルス感染者や医療従事者、その家族などに対する偏見や差別を無くそうと、愛媛県の有志が始めたものです。

このシトラスリボンは、柑橘をイメージしたシトラス色の3つの輪があるリボンで、3つの輪は、地域と家庭、職場または学校という意味があります。

上尾市ボランティアセンターでは、このプロジェクトに賛同しています。

詳しくはホームページをご覧ください。



寄付分のシトラスリボンを受け取りました



Special Feature

地域の人と「ともに生きる」学習

～ 総合学習における福祉教育の取り組み ～

上尾市社会福祉協議会ボランティアセンターでは、上尾市内の小中学校の総合的な学習の時間における福祉体験学習に協力しています。

福祉体験学習では、当事者の方・ボランティアグループ・地域の方にご協力をいただき、車いすやアイマスクの体験などを行います。

本年度は、新型コロナウイルスの影響で休校となり、授業時間が足りないなかでしたが、感染防止を徹底し、体験を行いました。

車いす・アイマスク体験

学校では、車いすに乗ることや、アイマスクで見えない状態での歩行等の疑似体験を通し、障がいのある方への理解を深める学習を行います。また、疑似体験だけでは得られないことも多いため、講師は、必ず当事者の方にご協力いただきながら行っています。

当事者の方からは、「障がいがある人は、自分たちと違う特別な人だと思わないでほしい。障がいがあっても、その人それぞれの日常があり、仕事をし、休日には趣味やスポーツなど好きな事をして楽しんでいることを知ってください。」と、お話がありました。

学習を通し、「障がいがあり不便なことなどはあるけれど、皆で支え合えば平気なんだ。」と子どもたちからは感想がありました。

「立ち寄りサロン」で笑顔再び

もともとサロン活動として始めましたが、平成30年に総合事業「通所型サービスB」として再スタートを切り、要支援者の方も受け入れる体制を整えました。月2回の開催では、毎回30人ほどの参加者の皆さんが、健康体操などの取り組みなどを通じて交流しています。しかしながら、新型コロナウイルスの影響から活動自粛を余儀なくされました。

集まることのできない期間が長くなるにつれて、代表の佐藤さんは「このままでは、つながりが途切れてしまう。」と、参加してくれていた方々の顔を思い浮かべながら、再活動への道を模索したそうです。

最初に取り組んだのが、「立ち寄りサロン」。事前に日程をお知らせした後、参加者は自分の都合に合わせて、散歩や買い物ついでに、サロン会場前に立ち寄ります。出迎え準備をしたスタッフと顔を合わせながら挨拶をし、立ち寄ってくれた参加者の皆さんには、準備した飴などを配りながら、しばしの会話で近況を確認していました。

「顔を合わせるだけでも、全然違う。やっぱりつい笑顔になってしまうね。」と代表の佐藤さんは振り返ります。その後、このような形で数回企画するうちに、

原市六区「むつみ水交會自治会」でのサロン活動

参加者のみなさんの体力的な変化が気になってきました。やはり、外出が減り家にいる人も多く、一人暮らしの方は特に、一日誰とも会わないとの話も聞かれました。



サロン会場前にて、会話が弾みます



消毒して準備万端!

「最近、足腰の調子が悪くてね。かと言って、一人でいると身体を動かすのも億劫で。」との声に対して、スタッフと慎重に話し合い、感染症対策をしながら短時間での体操時間を設けることにしました。

時期的にも、他の感染症のリスクが心配されるところもあり、十分な換気をしながら、20分間の即席DVD体操教室の始まりとなりました。全参加者を2グループに分けて、隔週ごとに参加してもらい、密を避ける配慮をしながら続けていくところです。

「これからも、状況を見ながら笑顔になれる機会を作っていければと思います。」と代表の佐藤さんはこやかに話してくれました。

上尾市社会福祉協議会では、コロナ禍において、一人ひとりがつながり続けるために必要なことを地域の皆さんと一緒に考え、様々なかたちで情報発信をしていく予定です。



感染症対策のうえ短時間で体操!

大切な“つながり”のために、今できること

～ コロナ禍における地域の取り組み紹介 ～

新型コロナウイルスの影響により、多くの人にとって当たり前の日常が一変してしまいました。

感染症の広がり、人と人が互いに距離を取り、接触する機会を減らすことが求められ、これまで通りの地域活動を自粛せざるを得ない状況となりました。

こうした状況下において、誰かとつながっていること、誰かを支えたり支えられたりしていることの大切さを改めて感じる機会になったと同時に、これまで築いてきた「支え合い」や「つながり」の輪が途切れてしまうことが懸念されます。

支部社協をはじめ、地域では、感染リスクを回避しながら「今できること」が始まっています。

今回は、2つの取り組みをご紹介します。



「どんな内容にしようかな？」
「利用者さんは、お元気がしら…」
など、話し合いながらお便りを作っています



ボランティアの打ち合わせの様子

「地域リハビリ教室」は、障がい者や高齢者で、家に閉じこもりがちな方の定期的な交流の場として、月に2回開催され、レクリエーションや茶話会が行われてきました。これまで当たり前のように一緒に体を動かし、お茶を飲みながら話に花を咲かせ、温かい交流をしてきましたが、コロナ禍において活動を自粛せざるを得なくなりました。

ボランティア代表の南雲さんは「いかに日頃のたわいない話や笑いが大切なのか」と感じたそうです。

そこで、「やっぱり『つながり』が大切！」との思いから、安否確認を兼ねた電話でのつながり続けました。また、ある日、利用者の方にお便りを書いたところ、大変喜ばれたことをきっかけに、「今できることはないか」と役員間で知恵を絞ってみたそうです。

「やっぱり『つながり』が大切！」

上尾市社会福祉協議会上平支部「地域リハビリ教室」の取り組み

その後、ボランティア3人1組で毎月利用者の方に向けて、グループごとに考えて用意したお便りとプレゼント（手作りの飾り物等）などのお届け活動〚〛をしています。

利用者からは「毎月届けてくれるボランティアさんとお話ができて嬉しいです」と好評。南雲さんは「私たちも利用者の皆さんの様子が分かるのでうれしいです。」と笑顔で答えてくれました。



プレゼントをお届け、笑顔に安心



ろうか？お手紙や会報をご自宅へお届けしては？外で距離を取りながらであれば、ラジオ体操くらいならできないだろうか？オンラインで繋がれないだろうか？そんな、様々なアイデアや可能性が見えてくるかも知れません。改めて「活動の願い・大切にしたいこと」を考えて見ると、これまでの活動はその願いを叶えるための選択肢の一つに過ぎないことに気づきます。きっと願いを叶える方法は他にもたくさんあるはずです。ボランティアにとって大切なのは、今ある活動の維持ではなく、自分たちの願いを形にすることです。コロナ禍においては、そんな活動の原点の確認と共に願いを形にする柔軟さが求められているように感じています。

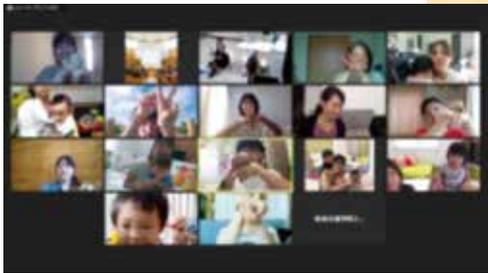
▼ コロナ禍に負けない！聖学院大学 学生ボランティアの動向

ここからは、私の関わっている聖学院大学の学生ボランティアの動きについて、少し紹介をさせていただきます。大学では、今年度春学期から全面オンライン授業となっています。秋学期においても一部対面の授業が再開したものの、多くはオンライン授業が継続されました。クラブ活動もごく一部をのぞき休止。これまで活発に活動を展開してきたボランティアも、クラブ活動同様全面休止となってしまいました。

少し時間を遡ると、緊急事態宣言解除後の5月、最初に訪れたのは「考える時間」でした。全ての活動は休止、そもそも大学にも行けない。ただ、幸いオンラインでの繋がりは持てたため、『新型コロナウイルス感染症とわたしたち』を

テーマに、「今のわたしの気持ち」「これからの世の中」等について考える時間を持ちました。その話し合いの中で学生達から「コロナの中でも自分たちに来ることを見つけられないだろうか？」「今できることをチャレンジしたい！」との声が上がりました。そんな学生達の言葉に勇気づけられ、私たちも「コロナを理由にボランティアを諦めない」をスローガンに、今できる活動の模索を始めました。

6月〜7月にオンラインに関する研修会を開き、8月には、毎年被災地に赴く団体が、現地の方とオンラインで繋がる「復興支援オンラインスタディツアー」を実現しました。オンラインで交流活動を展開する団体も誕生し、県内の保育園や上尾市内の子育て支援団体とオリジナル絵本の読み聞かせや交流プログラムを継続的に実施しています。施設からの依頼で、塗り絵のデザインづくりや災害に備えた雑巾・マスクづくり等、現在に至るまで、多種多様な活動が生まれ展開されています。



▼ 創造性を発揮するボランティア

ボランティア活動は、「自発的に社会や他者の為に無償で行う行為」だと言われています。そのような活動は、時として他の誰も取り組んだことのない、先駆的で新たな活動を生み出す創造性を持つと言われています。コロナ禍という誰も経験をしたことがない未知の世界にあっては、ボランティアの持つこの創造性が力を発揮すると信じています。もちろん、新しい活動を生み出すには、気力も体力も知力も必要です。しかし、県内ではすでに平均年齢77・2才（最高齢は87才）のサロングループが、コロナ禍を機にオンラインサロンに切り替えたという事例も出ています。主催者にお話しを伺うと、「難しいかと思っていたけど、やってみたら大丈夫だった」とのこと。参加者からは「人が寄り合うことの意味と作り方は、オンラインでもオフラインでも同じだった」との感想も聞かれました。全国でも少しずつ繋がりが続ける試みが増えてきているようです。情報サイトを紹介させていただきます。

暗中模索で正解はありませんが、引き続きみなさんと一緒に試行錯誤しながら、一歩ずつ歩んでいきたいと思えます。

未来の豊かな「つながり」のための

全国アクションHP

<https://tunagari-action.jp/?ns>



contribution

コロナ禍における ボランティア活動



聖学院大学非常勤講師（ボランティア論）
同大ボランティア活動支援センターアドバイザー

川田 虎男 氏

社会福祉士
NPO 法人ハNZオン埼玉 代表理事
上尾市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会委員長

「（新型コロナウイルス感染拡大によって）何か新しいことが起きたのではなく、すでに起きていた変化がより劇的に表れていると考えるべきでしょう」これは、5月20日の朝日新聞で紹介された、フランスの歴史家エマニュエル・トッド氏の指摘です。私たちの地域に照らして考えれば、格差の進展による生活の困窮や孤立化がより顕在化しています。その帰結として、自殺者の増加という深刻な事態も進んでいます。こんな時こそ行政による支援だけで無く、地域の支え合いやボランティアの活躍に期待したいところですが、感染予防のために人との接触を控え、かつ距離を保つことが求められる現状では、中々思うように行きません。「つながりたいのに、つながれない」。そんなジレンマを抱え活動を自粛している方々も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

◎今だからできる「J」

いま、世界中の人々がこのやっかいな存在との付き合い方を模索しています。そんな試行錯誤の中で、ボランティアに関わる私たちができることは何でしょうか。私の考える一つは「これまでの活動を振り返り記録する」ことでした。ある施設の職員から「（コロナ禍で）傾聴ボランティア、囲碁ボランティア等来所の中止により利用者自身の活動量の低下、認知能力、QOL（生活の質）低下が心配」との話を聴きました。そこには、その施設にとってボランティアがどんなに大切な役割を担ってきたかが明確に現れています。普段空気のような当たり前の存在に

なっているボランティア。それがいなくなってしまう今だからこそボランティアが何を担ってきたのか、その存在意義が浮かび上がります。その記録はきっとコロナ後のボランティアを勇気づけ、活動を再開する時の力になると思います。私が考えたもう一つのできることで、それは自分達の「活動の願い・大切にしたいこと」の再確認です。コロナの影響により、地域の見守り活動やサロン活動ができなくなってしまったとの話も伺います。確かに直接お会いしての活動は様々な困難が予想されます。ただ、仮に「地域の豊かな繋がりがづくり」が団体の願いであれば、直接会えずとも電話をかけてみてはどうだ



ご協力いただいた方々へ感謝状を贈呈いたしました。

上尾市の地域福祉推進のため、本会を通じて寄付をされ、ご協力いただきました、個人6名、団体19団体の方々に、感謝状を贈呈いたしました。対象となった皆さまをご紹介します。ありがとうございました。

※例年、地域福祉を考える集いにおいて感謝状を贈呈させていただいておりますが、新型コロナ禍という状況を鑑み、誌面への掲載に代えさせていただきます。 <順不同>

- 飯野 音一様
- 齋藤 君江様
- 國嶋 富美子様
- 関根 様
- 裸野 和男様
- 関口 仁之助様
- こより会 様
- 上尾遊技業組合 様
- 樹の会 八千草 三千良様
- むさし証券 株式会社 様
- 日本赤十字社 様
- 埼玉県有功会上尾市支会 様
- 株式会社スパンコア 様
- 株式会社TECサービス 様
- 公益社団法人 生命保険ファイナンシャル アドバイザー協会 様
- ボーイスカウト上尾4団 様
- 上尾市いきいきクラブ連合会 様
- お月見ライブ実行委員会 様
- カラオケ喫茶 ゆうなぎ 様
- コンサートホール上尾 様
- 和音歌謡 会主 鈴木 千穂美 様
- 上尾商工会議所 女性会 様
- 上尾ライオンズクラブ 様
- 紙芝居 やざさん一座 様
- 華の舞 創作舞踊連盟 様
- 旬魚・旬菜 ただ 様



受賞者
飯野 音一様

善意銀行・ボランティア基金にご協力いただきありがとうございました

お預かりいたしました寄付は、有効に活用させていただきます。

◆善意銀行

◆令和2年9月1日～令和2年12月31日受付分（敬称略・順不同）

善意銀行（寄付金）		
寄付者	寄付金(円)	寄付先
田村 ふで	100,000	上尾市社会福祉協議会
上尾市民吹奏楽団	38,095	上尾市社会福祉協議会
こより会	172,119	上尾市社会福祉協議会
前田 良祐	50,000	上尾市社会福祉協議会
匿名	50,000	上尾市社会福祉協議会
特別養護老人ホーム葺きの里	21,155	上尾市社会福祉協議会
匿名	9,773	上尾市社会福祉協議会
匿名	12,682	上尾市社会福祉協議会
上尾ヨーガ木曜会 橋口豊子先生と共に	19,256	上尾市社会福祉協議会
上尾市立原市中学校	39,375	上尾市社会福祉協議会
関根	100,000	上尾市社会福祉協議会
吉田 良二	5,000	上尾市社会福祉協議会
上尾遊技業組合	200,000	上尾市社会福祉協議会
匿名	20,020	上尾市社会福祉協議会
みやした幼稚園	20,597	上尾市社会福祉協議会
いきがい大学伊奈学園 グラウンドゴルフ愛好会	5,000	上尾市社会福祉協議会
いきいきクラブ 原市八区さくら会	3,000	上尾市社会福祉協議会 原市支部
原市七区親交会	7,959	上尾市社会福祉協議会原市支部
原市9区いきいきクラブ	12,378	上尾市社会福祉協議会原市支部
戸崎ゴルフクラブ	10,000	上尾市社会福祉協議会大谷支部

善意銀行（寄付金）		
寄付者	寄付金(円)	寄付先
株式会社スパンコア	45,000	こども食堂「とまと」
株式会社スパンコア	35,000	子ども食堂でんでん虫

善意銀行（寄贈品）	
寄付者	寄贈品
匿名	手作り布製ポーチ 48個
コンサートホール上尾	お菓子 段ボール9箱
こより会	手作りマスクM13枚・L10枚
スロットサンエイト	お菓子 段ボール1箱
アリーナ平塚	お菓子 段ボール5箱
十連寺	お菓子 段ボール1箱（贈答用）
特別養護老人ホーム 葺きの里	乾パン 1箱（24缶） レトルトカレー230食
イオン社会福祉基金	日産キャラバンチェアキャブ 1台
匿名	玄米 55kg
上尾白ゆり会	タオル 1854枚
匿名	車いす 1台
株式会社トヨタレンタリース埼玉	足踏み式消毒用スタンド 1台
春日 進	羽毛布団 2組
埼玉運輸支局	固形石けん 100個

◆ボランティア基金 ◆令和2年9月1日～令和2年12月31日受付分（敬称略・順不同）

寄付者	寄付金(円)
お月見ライブ実行委員会	20,000



今、できることを考える “ボランティア活動”



コロナ禍の今、3密を回避する等の「新しい生活様式」を前提とした社会への変化が求められています。感染拡大の防止という観点から、安心して人と人が直接会えないような状況が続き、地域とのつながりが希薄化してしまう…。しかし、こうした状況下だからこそ地域とつながり続ける工夫が必要だと、活動をしている団体があります。そして、自宅にしながらできるボランティア活動や、「こんなときだからこそ、何かしたい」という思いをもった方々が集まり、感染防止対策を徹底した中で「ボランティア活動体験」を行いました。

ひとり親家庭や生活困窮者等を支援するフードパントリーの活動

新型コロナウイルスの影響で経済的な厳しさが増す中、寄贈された食料品などを生活に困っている家庭に無料で提供する“フードパントリー”の取り組みが広がっています。

ご家庭で眠っている缶詰やレトルト食品なども募集しています。

お問い合わせ

上尾市社会福祉協議会 地域福祉課 ボランティア係
Tel 048-773-7155 8:30~17:15
月~金曜日（祝祭日を除く）



フードパントリー「パプリカ」



みどりフードパントリー上尾



使用済み切手の整理ボランティア活動体験

10月24日、27日、29日に上尾市総合福祉センターで「使用済み切手の整理ボランティア活動体験」を行いました。

当日は、定員5名集まりました。皆集中して作業を行い、あっという間に時間が過ぎました。

参加した方からは「時間が過ぎるのが早く、楽しい時間でした。仕組みも分かって良かったです。」「日本の切手の綺麗さに1枚1枚見ながら切っていて、楽しくさせていただきました。」



「皆さんと一緒に作業をすると、楽しくまた色々なお話ができて、やりがいがある時間でした。小さなことでも、人の役に立つことが自分にできるということは、毎日の張り合いになると思いました。」などといった感想をいただきました。

皆さん、楽しみながら取り組んでいただけたようです。

このような社会状況の中、今できる形で人とつながる活動や取り組みをできる範囲で続けていくことが大切なのではないでしょうか。この思いやりや気持ちが、今後の地域づくりのきっかけになることを想いながら…。

令和2年度 上尾市社会福祉協議会 会員募集の報告

令和2年度上尾市社会福祉協議会の世帯・個人会員及び個人賛助会員募集の中間報告と、特別団体会員及び施設会員募集の追加報告です。最終報告につきましては、次号の社協だよりと当協議会のホームページでご報告させていただきますので、ご確認いただければ幸いです。

■世帯・個人会員及び賛助会員報告会員 (令和2年12月31日現在)

区 分	件 数	金 額
上尾地区(計)	3,365件	1,974,610円
① 上尾東	1,371件	793,870円
② 上尾西	1,007件	631,850円
③ 上尾南	987件	548,890円
平方地区	960件	556,600円
原市地区	1,695件	1,019,595円
大石地区(計)	3,133件	1,775,010円
① 大石東	1,915件	1,076,010円
② 大石西	1,218件	699,000円
上平地区	1,887件	1,156,860円
大谷地区	1,817件	1,004,090円
原市団地	191件	161,500円
尾山台団地	355件	239,015円
西上尾第一団地	259件	196,500円
西上尾第二団地	276件	223,400円
賛助会員	989件	746,045円
合 計	14,927件	9,053,225円

■特別団体会員及び施設会員報告 (令和2年9月5日～11月30日現在) (順不同・敬称略)

団 体 名	
平方地区	株式会社大生興業
大石地区	社会福祉法人上尾あゆみ会大石事業所
	油機工業株式会社
上平地区	公益財団法人 上尾市勤労者福祉サービスセンター
	グループホームのどか

ご加入いただきました皆さまに感謝申し上げますとともに、「誰もがつながりあって安心して暮らせるまち上尾」を目指し、地域福祉活動のより一層の推進を図れるよう努めてまいります。
今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。



令和2年度 共同募金運動の報告

■令和2年度赤い羽根共同募金実績 (令和3年1月6日現在)

地区名	実績(円)
上尾地区(計)	2,742,203
①上尾東	1,200,980
②上尾西	703,498
③上尾南	837,725
平方地区	565,245
原市地区	2,648,099
大石地区(計)	2,290,110
①大石東	1,687,750
②大石西	602,360
上平地区	2,134,448
大谷地区	1,745,514
原市団地	96,356
尾山台団地	210,835
西上尾第一団地	208,184
西上尾第二団地	225,866
小 計	12,866,860
法人募金・個人大口募金	791,247
街 頭 募 金	132,636
学 校 募 金	275,884
職 域 募 金	1,001,487
合 計	15,068,114

■令和2年度歳末たすけあい募金実績 (令和3年1月6日現在)

地区名	実績(円)
上尾地区(計)	1,897,010
①上尾東	837,151
②上尾西	483,859
③上尾南	576,000
平方地区	382,740
原市地区	1,643,941
大石地区(計)	1,397,722
①大石東	993,900
②大石西	403,822
上平地区	1,513,566
大谷地区	1,051,741
原市団地	63,892
尾山台団地	152,662
西上尾第一団地	208,140
西上尾第二団地	178,154
小 計	8,489,568
法 人 募 金	250,000
街 頭 募 金	189,049
合 計	8,928,617

歳末たすけあい 法人募金協力団体 上尾市仏教会

共同募金運動にご協力いただいた方のご紹介 (順不同・敬称略)

戸別募金：上尾市自治会連合会／自治会長
学校募金：児童および生徒／保護者／学校職員

職域募金：上尾市自治会連合会
上尾市民生委員・児童委員協議会
学校職員／施設職員／団体職員



街頭募金：ボーイスカウト上尾市連絡協議会／上尾市ボランティア連絡会
ガールスカウト上尾地区協議会／上尾市いきいきクラブ連合会／輪太鼓虹の会
募金箱設置：総合福祉センター内 法人募金・個人大口募金：個人協力者／上尾市内・外企業及び施設





令和2年度

赤い羽根共同募金 法人・個人大口募金報告

今年度は、新型コロナウイルス感染症が続くなかでのご依頼となりましたが、多くの法人・個人の皆さまにご協力いただくことができました。

「困ったときはお互いさま」の気持ちから始まった赤い羽根共同募金運動。皆さまからの善意は大切に『自分の町を良くするしくみ』のために使わせていただきます。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

(令和2年11月30日現在) (順不同・敬称略)

上尾東地区
株式会社大塚
ドラゴン株式会社
株式会社島村工業
愛仁クリニック
有限会社文栄堂
大沢精密工業株式会社
株式会社富吉
上尾セントラルテニスクラブ
上尾ゴルフリンクス
大宮石油株式会社
有限会社岡野自動車
中華料理宝来
株式会社共栄製作所
医療法人前田内科医院
小島製作所
山屋産業株式会社
株式会社吉野印刷
上尾西地区
有限会社柳田商事
有限会社谷津サイクル
株式会社内田組
土岐歯科医院
株式会社上尾スイミングスクール
上尾南地区
有限会社横田運動具店
有限会社若葉屋商店
上尾サービスシール協同組合
医療法人藤塚医院
株式会社尾花ビル
有限会社京屋商店
医療法人藤仁会藤村病院
株式会社上尾サービスセンター
有限会社カネリョウ
有限会社安藤商店
医療法人社団福島医院
関口長吉
株式会社名取製作所
上尾テニスクラブ
医療法人社団宗仁会武蔵野病院
有限会社若原製作所

平方地区
株式会社マルマンコンサルティング
株式会社遠藤製作所
山忠わさび株式会社
有限会社小嶋製作所
株式会社平方ゴルフガーデン
株式会社フェニックス
株式会社サイサン埼玉支店
株式会社井口工業
原市地区
はらいち団地歯科
妙巖寺
妙巖寺幼稚園
千代本興業株式会社
千代貞雄
株式会社ヒラノ
信濃路
有限会社常陽会
宗教法人楞嚴寺
宗教法人相頓寺
大石地区
ファミリー寝装いしくら
株式会社ヤオヒロ
株式会社山崎土建
日幸電機工業株式会社
上尾霊園
栄電業株式会社
原田産業株式会社
株式会社タスクスリー
上尾自動車工業株式会社
アジア耐火株式会社
大石建設興業株式会社
東邦鋼機株式会社
領工会
三美印刷
有限会社イナ企画
マナブ・オート
有限会社細野恒産
根本工業株式会社
有限会社谷島工務店
株式会社大亀鋳工所

上平地区
株式会社上尾グリーンガーデン
株式会社白田ファインモータースクール上尾
株式会社三幸
甲原管工業株式会社
ヘアサロンやまと&なでしこ
埼玉県食品流通センター株式会社
株式会社フコク上尾工場
株式会社明生建設
武重外科整形外科
総合建設馬橋工業
有限会社ウチダ美装
上平大野接骨院
島村電業株式会社
税理士法人ルベール
株式会社今川工務店
寿ロジコム株式会社
株式会社中村設備工業所
日産プリンス埼玉販売株式会社上尾平塚店
藤家藤兵衛菓子店
大谷地区
こどもの園プラムハウス
UDトラックス株式会社
藤倉食堂
斉藤自動車整備工場
西光寺護持会
上尾坊山工業団地 金曜会
かわぐちペットクリニック
有限会社長谷川電機商会





自宅でできる 手作りボランティア活動 第2弾 大募集!

お寄せいただいた品は、市内の「あったか見守りサービス」で訪問している方や、「地域交流サロン」の参加者の方等へ、ボランティアがお届けします。

飾れるカードを作ろう!



- 内容** 自宅にある折り紙と紐で飾れるカードを作ります。できあがった物を郵送、または持参してもらいます。
- ご用意いただく物** 7.5cm×7.5cmの折り紙（赤系、白系、緑系（柄物でもOK））、長さ12cm位で幅1cm以下の紐、のりまたはボンド
- 参加方法** 申込みいただいた方に作成の詳細と返信用レターパックを郵送します。ご用意いただいた折り紙と紐で飾れるカードを作成していただき、作成後、レターパックに入れて、返送してもらいます。
- 申込み締め切り** 電話または入力フォームにて受付
令和3年2月19日（金）

ティッシュボックスケースを作ろう!



- 内容** 自宅にある好きな布でティッシュボックスケースを作ります。できあがった物を郵送、または持参してもらいます。
- ご用意いただく物** ハンカチまたは布（タテ47cm×ヨコ34cm）、作業に必要な裁縫用品
- 参加方法** 申込みいただいた方に作成の詳細と返信用レターパックを郵送します。ご用意いただいたハンカチまたは布でティッシュボックスケースを作成していただき、作成後、レターパックに入れて、返送してもらいます。
- 申込み締め切り** 電話または入力フォームにて受付
令和3年2月19日（金）
- 申込みはこちらから→ 

※2月中に送付し、3月末に返送を予定しています。

ボランティアに関する問い合わせ 〒362-0011 上尾市大字平塚724番地 上尾市社会福祉協議会 地域福祉課 ボランティア係
Tel 048-773-7155 8:30~17:15 月~金曜日（祝祭日は除く）

令和3年度 ボランティア活動保険のご案内

ボランティア活動中の事故やケガ、偶然な事故により他人にケガをさせたり、他人の物を壊した場合に支払われる保険です。

3月2日より
受付開始



保険料	基本プラン	天災・地震補償プラン
	350円	500円

※保険料、補償内容等は毎年見直しがあり、変更となる場合があります。

補償期間 令和3年4月1日0時から令和4年3月31日24時まで
※年度途中の加入でも補償期間は3月31日で終了します

受付窓口 *上尾市ボランティアセンター
上尾市大字平塚724番地
Tel.048-773-7155
8:30~17:15
月~金曜日（祝祭日は除く）
*上尾西地域福祉センターほほえみ
上尾市小敷谷858-5
Tel.048-780-1910
9:30~16:00
火~土曜日（祝祭日は除く）

手作り
ボランティア活動
第1弾

ぞうきんを作ろう! 携帯ビニール袋ケースを作ろう!

ご報告

“ぞうきん”と“携帯ビニール袋ケース”の作成を募集したところ、たくさんの方の応募がありました。「ボランティアに興味があり、家で空いた好きな時間にできると思いました。」「自分の趣味をボランティアに活かせたら良いなと思いました。」などという理由で、たくさん作成していただきました。作成後は、「とても楽しかったです。作品を受け取っていただき、喜んでいただけました。嬉しいです。」「ひとつの物を作る過程も楽しみですが、出来上がるともっと嬉しくなります。」などといった感想をいただきました。

お寄せいただいた品は、市内の「あったか見守りサービス」で訪問している方等へ、ボランティアがお届けします。



ご協力ありがとうございました

広告掲載募集中!

上尾市社会福祉協議会では、新たな財源の確保と地域経済の活性化を目的として、有料広告枠を設けます。ぜひ、ご活用下さい。

料金 1号につき、1区画25,000円（縦59mm、横95mm）
2区画50,000円（縦59mm、横196mm）

申し込み方法

掲載を希望する号の発行日のおおむね55日前に申込書（原稿、図面案含む）をご提出下さい。

問い合わせ

地域福祉課 ボランティア係 Tel 048-773-7155
8:30~17:15 月~金曜日（祝祭日は除く）